



進撃の巨人ミュージアム別館

オープン1年 ファンで盛況



開館して1年を過ぎた「進撃の巨人 in HITTA ミュージアムANNEX」＝日田市高瀬

【日田】日田市高瀬の「進撃の巨人 in HITTA ミュージアムANNEX」が開館して1年を過ぎた。作者の諫山創さんの出身地（同市大山町）にある「進撃の巨人 in HITTAミュージアム」の別館として、昨年8月20日にオープン。人気漫画の世界観に触れようと国内外からファンが集まり、盛況を博している。

サッポロビール九州日田工場内にあり、展示面積は約350平方メートル。単行本（全34巻）の各巻の中から、諫山さんが思い入れのある計86冊を選びコメント付きで紹介。諫山さんの幼少期の写真やイラストも含め、約120点を展示している。漫画の世界に没入できる巨大デジタル展示「イマーシブコミック」も楽しめる。来館者数は非公表ながら、約4割は海外からという。ソウルから友人3人と訪れた大学生カン・ハユンさん(21)は、約1時間半かけて館内を丁寧に回った。「諫山先生のこと」

日田 4割は海外から

しか読めない言葉もあつて感動した。1日では足りないくらい。日田市は進撃のテーマパークのようですね」と笑顔を見せた。漫画の連載は2021年4月に完結した。稲葉孝政館長(67)は「作品を永遠に残す上で、日田の地にミュージアムがあることが大切。若い観光客も増え、市民が誇れるスポットになっている」と話した。開館は午前10時～午後7時。不定休。入館料は18歳以上700円。大山町の本館との共通券（千円）もある。（山口真由）



1周年を記念して作者の諫山創さんから寄せられたメッセージやイラストなども展示。「市民が誇れるスポットになっている」と話す稲葉孝政館長



〔問①〕 人気漫画「進撃の巨人」の作者の名前と出身地は？

〔問②〕 サッポロビール九州日田工場内にある進撃の巨人ミュージアム別館にはどんなものが展示されていますか。記事の中から抜き出そう。

〔問③〕 同ミュージアムは、海外からの来場者が約何割でしょう。

〔問④〕 諫山さんのほかに、大分県出身の有名人を調べてみよう。